

## 2020年度 授業要項

区分	専門基礎分野		授業形式	履修学年/学部	第2学年/経理部
科目名	解剖学 II		講義	履修単位/時間	2単位/30時間
教員資格	歯科医師			使用教室	302教室
教員名	渡辺 義隆				
学習目標と講義概要	脈管系(循環器系)、内臓系(消化器系)について学び、脈管系、消化系の役割、構成、走行についての知識を身につけることを目的とする。脈管の構造と役割、動脈、静脈、リンパ管の構成と走行、胎児循環の特徴と役割、消化器系の種類、位置関係、構造、機能について理解出来る。				
回数	コマ数	時間数	学習内容		
1	1	2	脈管系 A. 総論 B. 心臓 1		
2	1	2	脈管系 B. 心臓 2		
3	1	2	脈管系 C. 心脈管系 動脈 1		
4	1	2	脈管系 C. 心脈管系 動脈 2		
5	1	2	脈管系 C. 心脈管系 動脈 3		
6	1	2	脈管系 C. 心脈管系 静脈		
7	1	2	脈管系 C. 心脈管系 胎児循環		
8	1	2	脈管系 D. リンパ系		
9	1	2	内臓系 A. 消化器 1		
10	1	2	内臓系 A. 消化器 2		
11	1	2	内臓系 A. 消化器 3		
12	1	2	内臓系 A. 消化器 4		
13	1	2	内臓系 A. 消化器 5		
14	1	2	単位認定試験		
15	1	2	解答・解説		
合計					
15	15	30			
学習方法					
1) 板書及び説明、解説      2) 資料の配布及び説明、解説					
評価方法					
「学則第24条、第25条、第26条、第27条、第28条」及び「学則施行細則第11条、第15条」並びに「単位認定試験実施要領」「単位認定・進級判定要領第1項」「成績評価規程」に準ずる。					
教科書					
解剖学：医歯薬出版					
教員について【実務経験有】					
歯科医師として、歯科医院での実務(臨床)経験を有している。					

## 2020年度 授業要項

区分	専門基礎分野		授業形式	履修学年/学部	第2学年/昼間部
科目名	解剖学 III		講義	履修単位/時間	2単位/30時間
教員資格	歯科医師			使用教室	302教室
教員名	渡辺 義隆				
学習目標と講義概要	内臓系(呼吸器系、泌尿器系、生殖器系、内分泌系)についての知識を身につけることを目的とする。各内臓系の種類、位置関係、構造、機能について理解出来る。				
回数	コマ数	時間数	学習内容		
1	1	2	内臓系 B. 呼吸器 1		
2	1	2	内臓系 B. 呼吸器 2		
3	1	2	内臓系 B. 呼吸器 3		
4	1	2	内臓系 B. 呼吸器 4		
5	1	2	内臓系 C. 泌尿器 1		
6	1	2	内臓系 C. 泌尿器 2		
7	1	2	内臓系 C. 泌尿器 3		
8	1	2	内臓系 D. 生殖器 1		
9	1	2	内臓系 D. 生殖器 2		
10	1	2	内臓系 D. 生殖器 3		
11	1	2	内臓系 D. 生殖器 4		
12	1	2	内分泌系 1		
13	1	2	内分泌系 2		
14	1	2	単位認定試験		
15	1	2	解答・解説		
合計					
15	15	30			
学習方法					
1) 板書及び説明、解説      2) 資料の配布及び説明、解説					
評価方法					
「学則第24条、第25条、第26条、第27条、第28条」及び「学則施行細則第11条、第15条」並びに「単位認定試験実施要領」「単位認定・進級判定要領第1項」「成績評価規程」に準ずる。					
教科書					
解剖学 : 医歯薬出版					
教員について【実務経験有】					
歯科医師として、歯科医院での実務(臨床)経験を有している。					

## 2020年度 授業要項

区分	専門基礎分野		授業形式	履修学年/学部	第2学年/昼間部
科目名	解剖学 IV		講義	履修単位/時間	2単位/30時間
教員資格	歯科医師			使用教室	302教室
教員名	渡辺 義隆				
学習目標と講義概要	生命活動を営むための神経系(中枢神経系、末梢神経系)、感覚器(皮膚、視覚器、聴覚器、味覚器、嗅覚器)についての知識を身につけることを目的とする。神経系の総論、神経系の各論(中枢神経系、脳神経系の解剖、脊髄神経系の解剖)、感覚器系の機能、構造、感覚需要期の役割について理解できる。				
回数	コマ数	時間数	学習内容		
1	1	2	神経系 A. 神経系の基礎		
2	1	2	神経系 B. 脳 1		
3	1	2	神経系 B. 脳 2		
4	1	2	神経系 C. 脊髄 1		
5	1	2	神経系 C. 脊髄 2		
6	1	2	神経系 D. 末梢神経 1		
7	1	2	神経系 D. 末梢神経 2		
8	1	2	神経系 D. 末梢神経 3		
9	1	2	神経系 D. 末梢神経 4		
10	1	2	感覚器系 A. 外皮		
11	1	2	感覚器系 B. 視覚器		
12	1	2	感覚器系 C. 聴覚器および平衡器		
13	1	2	感覚器系 D. 味覚器		
14	1	2	単位認定試験		
15	1	2	解答・解説		
合計					
15	15	30			
学習方法					
1)板書及び説明、解説      2)資料の配布及び説明、解説					
評価方法					
「学則第24条、第25条、第26条、第27条、第28条」及び「学則施行細則第11条、第15条」並びに「単位認定試験実施要領」「単位認定・進級判定要領第1項」「成績評価規程」に準ずる。					
教科書					
解剖学：医歯薬出版					
教員について【実務経験有】					
歯科医師として、歯科医院での実務(臨床)経験を有している。					

## 2020年度 授業要項

区分	専門基礎分野		授業形式	履修学年/学部	第2学年/昼間部
科目名	生理学 II		講義	履修単位/時間	2単位/30時間
教員資格	歯科医師			使用教室	302教室
教員名	渡辺 義隆				
学習目標と講義概要	体温、尿の生成と排泄、内分泌系の機能、体液と生命活動の営みを行う生理学の機能についての知識を身につけることを目的とする。代謝の生理的意味と中間代謝、エネルギー代謝について説明できる。体温発生の仕組み、体温調節の仕組みについて説明できる。排尿の仕組み、再吸収の仕組みについて説明できる。各内分泌の機能、特徴、分泌調整、作用について説明できる。骨のカルシウム代謝、ホルモン作用について説明できる。体液のイオン組成、恒常性の維持の仕組みについて説明できる。				
回数	コマ数	時間数	学習内容		
1	1	2	体温とその調整		
2	1	2	尿の生成と排泄 1		
3	1	2	尿の生成と排泄 2		
4	1	2	内分泌系の機能 1		
5	1	2	内分泌系の機能 2		
6	1	2	内分泌系の機能 3		
7	1	2	内分泌系の機能 4		
8	1	2	生殖 1		
9	1	2	生殖 2		
10	1	2	骨の生理学		
11	1	2	体液の生理学		
12	1	2	神経の基本的機能 1		
13	1	2	神経の基本的機能 2		
14	1	2	単位認定試験		
15	1	2	解答・解説		
合計					
15	15	30			
学習方法					
1)板書及び説明、解説      2)資料の配布及び説明、解説					
評価方法					
「学則第24条、第25条、第26条、第27条、第28条」及び「学則施行細則第11条、第15条」並びに「単位認定試験実施要領」「単位認定・進級判定要領第1項」「成績評価規程」に準ずる。					
教科書					
生理学 :南江堂					
教員について【実務経験有】					
歯科医師として、歯科医院での実務(臨床)経験を有している。					

## 2020年度 授業要項

区分	専門基礎分野		授業形式	履修学年/学部	第2学年/昼間部
科目名	生理学 III		講義	履修単位/時間	2単位/30時間
教員資格	歯科医師			使用教室	302教室
教員名	渡辺 義隆				
学習目標と講義概要	神経系、筋肉の機能と身体の機能をまとめる役割を持つ生理学についての知識、高齢者および競技者の生理学的特徴・変化について知識を身につけることを目的とする。神経の基本的機能、脳神経、脊髄神経、自律神経などの神経系の働きについて説明できる。高齢者及び競技者の生理学的特徴・変化について説明できる。				
回数	コマ数	時間数	学習内容		
1	1	2	神経系の機能 1		
2	1	2	神経系の機能 2		
3	1	2	神経系の機能 3		
4	1	2	神経系の機能 4		
5	1	2	神経系の機能 5		
6	1	2	神経系の機能 6		
7	1	2	神経系の機能 7		
8	1	2	筋肉の機能 1		
9	1	2	筋肉の機能 2		
10	1	2	筋肉の機能 3		
11	1	2	感覚の生理学 1		
12	1	2	感覚の生理学 2		
13	1	2	感覚の生理学 3		
14	1	2	単位認定試験		
15	1	2	解答・解説		
合計					
15	15	30			
学習方法					
1) 板書及び説明、解説      2) 資料の配布及び説明、解説					
評価方法					
「学則第24条、第25条、第26条、第27条、第28条」及び「学則施行細則第11条、第15条」並びに「単位認定試験実施要領」「単位認定・進級判定要領第1項」「成績評価規程」に準ずる。					
教科書					
生理学 : 南江堂					
教員について【実務経験有】					
歯科医師として、歯科医院での実務(臨床)経験を有している。					

## 2020年度 授業要項

区分	専門基礎分野		授業形式	履修学年/学部	第2学年/昼間部
科目名	運動学		講義	履修単位/時間	2単位/30時間
教員資格	医師			使用教室	302教室
教員名	蛸原 慎太郎				
学習目標と講義概要	人間の運動に関わる正常な構造と機能と運動障害(手指変形、異常歩行など)を引き起こす疾患についての基礎知識を身につけることを目的とする。柔道整復師として必須の知識として、骨・筋・関節・神経、運動器の構造と機能を解剖学的な視点で理解し、運動感覚、四肢と体幹の運動、姿勢、歩行について説明出来るようになる。				
回数	コマ数	時間数	学習内容		
1	1	2	運動の目的、表し方		
2	1	2	身体運動と力学		
3	1	2	運動器の構造と機能 1		
4	1	2	運動器の構造と機能 2		
5	1	2	神経の構造と機能		
6	1	2	運動感覚		
7	1	2	反射と随意運動		
8	1	2	四肢と体幹の運動 1		
9	1	2	四肢と体幹の運動 2		
10	1	2	四肢と体幹の運動 3		
11	1	2	姿 勢		
12	1	2	歩 行 1		
13	1	2	歩 行 2		
14	1	2	単位認定試験		
15	1	2	解答・解説		
合計					
15	15	30			
学習方法					
1) 板書及び説明、解説      2) 資料の配布及び説明、解説					
評価方法					
「学則第24条、第25条、第26条、第27条、第28条」及び「学則施行細則第11条、第15条」並びに「単位認定試験実施要領」「単位認定・進級判定要領第1項」「成績評価規程」に準ずる。					
教科書					
運動学：医歯薬出版					
教員について【実務経験有】					
担当教員は、医師として病院で勤務した実務経験を有している。					

## 2020年度 授業要項

区分	専門基礎分野		授業形式	履修学年/学部	第2学年/昼間部
科目名	病理学概論		講義	履修単位/時間	2単位/30時間
教員資格	歯科医師			使用教室	302教室
教員名	渡辺 義隆				
学習目標と講義概要	病理学を通して「医学知識」を学び、疾病における臓器、組織、細胞の形態変化についての知識を身につける。細胞、組織、臓器などの形態の変化の観察をもとに、疾病の原因、経過、本態、他の疾病との鑑別、治療効果などについて学び、理解を深める。				
回数	コマ数	時間数	学習内容		
1	1	2	病理学とは ・ 疾病の一般		
2	1	2	細胞障害(退行性病変、代謝障害) 1		
3	1	2	細胞障害(退行性病変、代謝障害) 2		
4	1	2	循環障害 1		
5	1	2	循環障害 2		
6	1	2	進行性病変(病的増加)と細胞・組織の適応		
7	1	2	炎症		
8	1	2	免疫異常、アレルギー 1		
9	1	2	免疫異常、アレルギー 2		
10	1	2	腫瘍 1		
11	1	2	腫瘍 2		
12	1	2	先天性異常		
13	1	2	病因		
14	1	2	単位認定試験		
15	1	2	解答・解説		
合計					
15	15	30			
学習方法					
1) 板書及び説明、解説      2) 資料の配布及び説明、解説					
評価方法					
「学則第24条、第25条、第26条、第27条、第28条」及び「学則施行細則第11条、第15条」並びに「単位認定試験実施要領」「単位認定・進級判定要領第1項」「成績評価規程」に準ずる。					
教科書					
病理学概論：医歯薬出版					
教員について【実務経験有】					
歯科医師として、歯科医院での実務(臨床)経験を有している。					

## 2020年度 授業要項

区分	専門基礎分野		授業形式	履修学年/学部	第2学年/昼間部
科目名	一般臨床医学 I		講義	履修単位/時間	2単位/30時間
教員資格	医師			使用教室	302教室
教員名	蛸原 慎太郎				
学習目標と講義概要	疾病によって引き起こされる「病態生理」を踏まえ、各疾病についての基礎知識を身につけることを目的とする。診察の基礎、生命徴候の測定を理解し、各疾患の概要、病的生理、診断、治療、予後について学び、理解を深める。				
回数	コマ数	時間数	学習内容		
1	1	2	診察概論・各論	医療面接	・ 視診
2	1	2		打診	・ 聴診
3	1	2		触診	・ 生命徴候
4	1	2		感覚検査	・ 反射検査
5	1	2		代表的な臨床症状	1
6	1	2		代表的な臨床症状	2
7	1	2	検査法	生命徴候の測定	・ 生理機能検査
				検体検査	・ 運動機能検査
8	1	2	主要な疾患	呼吸器疾患	1
9	1	2		呼吸器疾患	2
10	1	2		循環器疾患	1
11	1	2		循環器疾患	2
12	1	2		消化器疾患	1
13	1	2		消化器疾患	2
14	1	2		単位認定試験	
15	1	2		解答・解説	
合計					
15	15	30			
学習方法	1) 板書及び説明、解説      2) 資料の配布及び説明、解説				
評価方法	「学則第24条、第25条、第26条、第27条、第28条」及び「学則施行細則第11条、第15条」並びに「単位認定試験実施要領」「単位認定・進級判定要領第1項」「成績評価規程」に準ずる。				
教科書	一般臨床医学：医歯薬出版				
教員について【実務経験有】	医師として病院に勤務、実務経験が豊富である。				



## 2020年度 授業要項

区分	専門基礎分野		授業形式	履修学年/学部	第2学年/昼間部
科目名	外科学概論		講義	履修単位/時間	2単位/30時間
教員資格	医師		使用教室	302教室	
教員名	蛸原 慎太郎				
学習目標と講義概要	外科学の基礎知識、日常の臨床の場において遭遇しやすい外科疾患について理解することを目的とする。外科学総論を学び、臨床現場で使用できるような基本知識と実用的な内容について説明出来る。外科学各論で脳神経外科疾患、呼吸器疾患、循環器系疾患、乳腺疾患、腹部外科疾患について学び、外科的知識を身につけ、患者に対して適切な説明ができるようになる。				
回数	コマ数	時間数	学習内容		
1	1	2	損 傷		
2	1	2	炎症と外科感染症		
3	1	2	腫 瘍		
4	1	2	ショック・輸血、輸液		
5	1	2	消毒と滅菌・手術		
6	1	2	麻酔・移植と免疫		
7	1	2	出血と止血		
8	1	2	心肺蘇生法		
9	1	2	脳神経外科疾患		
10	1	2	甲状腺、頰部疾患・胸壁、呼吸器疾患		
11	1	2	心臓・脈管疾患		
12	1	2	乳腺疾患		
13	1	2	腹部外科疾患 1		
14	1	2	単位認定試験		
15	1	2	解答・解説		
合計					
15	15	30			
学習方法					
1) 板書及び説明、解説      2) 資料の配布及び説明、解説					
評価方法					
「学則第24条、第25条、第26条、第27条、第28条」及び「学則施行細則第11条、第15条」並びに「単位認定試験実施要領」「単位認定・進級判定要領第1項」「成績評価規程」に準ずる。					
教科書					
外科学概論 : 南江堂					
教員について【実務経験有】					
担当教員は、医師として病院で勤務した実務経験を有している。					

## 2020年度 授業要項

区分	専門基礎分野		授業形式	履修学年/学部	第2学年/昼間部
科目名	整形外科科学		講義	履修単位/時間	2単位/30時間
教員資格	医師			使用教室	302教室
教員名	蛭原 慎太郎				
学習目標と講義概要	運動器の医学である整形外科科学で、医療人として必要となる知識をさらに身につけることを目的とする。運動器の基礎知識についての理解を深め、整形外科診察法、整形外科検査法、整形外科治療法を学び、臨床現場で生かせる知識を習得する。運動器の身体各部位別疾患について学び、疾患概念、症状、治療についての説明ができるようになる。				
回数	コマ数	時間数	学習内容		
1	1	2	運動器の基礎知識 ・ 整形外科診察法		
2	1	2	整形外科検査法		
3	1	2	整形外科的治療法		
4	1	2	骨・関節損傷総論		
5	1	2	スポーツ整形外科総論 ・ リハビリテーション総論		
6	1	2	疾患別各論 1		
7	1	2	疾患別各論 2		
8	1	2	疾患別各論 3		
9	1	2	疾患別各論 4		
10	1	2	疾患別各論 5		
11	1	2	疾患別各論 6		
12	1	2	身体各部位別各論 1		
13	1	2	身体各部位別各論 2		
14	1	2	単位認定試験		
15	1	2	解答・解説		
合計					
15	15	30			
学習方法					
1) 板書及び説明、解説      2) 資料の配布及び説明、解説					
評価方法					
「学則第24条、第25条、第26条、第27条、第28条」及び「学則施行細則第11条、第15条」並びに「単位認定試験実施要領」「単位認定・進級判定要領第1項」「成績評価規程」に準ずる。					
教科書					
整形外科科学 : 南江堂					
教員について【実務経験有】					
担当教員は、医師として病院で勤務した実務経験を有している。					

## 2020年度 授業要項

区分	専門基礎分野		授業形式	履修学年/学部	第2学年/昼間部
科目名	衛生学・公衆衛生学		講義	履修単位/時間	2単位/30時間
教員資格	歯科医師			使用教室	302教室
教員名	渡辺 義隆				
学習目標と講義概要	医療人として、地域の公衆衛生活動の推進が出来るように、病気予防・健康創造についての知識を身につけることを目的とする。健康の概念を理解したうえで、健康管理・疾病予防、感染症予防、消毒方法について説明できるようになる。各保健についての概要や活動内容、生活環境の改善方法を学び、医療人として社会に貢献できる人材となる。				
回数	コマ数	時間数	学習内容		
1	1	2	衛生学・公衆衛生学の歴史と公衆衛生活動 ・ 健康の概念		
2	1	2	疾病予防と健康管理 ・ 感染症の予防		
3	1	2	消毒 ・ 環境衛生(環境保健)		
4	1	2	環境衛生(環境保健) 1		
5	1	2	環境衛生(環境保健) 2		
6	1	2	生活環境 ・ 食品衛生活動		
7	1	2	母子保健 ・ 学校保健		
8	1	2	学校保健 ・ 産業保健		
9	1	2	産業保健		
10	1	2	成人・高齢者保健 ・ 精神保健		
11	1	2	精神保健 ・ 地域保健と国際保健		
12	1	2	衛生行政と保健医療の制度 1		
13	1	2	衛生行政と保健医療の制度 2		
14	1	2	単位認定試験		
15	1	2	解答・解説		
合計					
15	15	30			
学習方法					
1) 板書及び説明、解説      2) 資料の配布及び説明、解説					
評価方法					
「学則第24条、第25条、第26条、第27条、第28条」及び「学則施行細則第11条、第15条」並びに「単位認定試験実施要領」「単位認定・進級判定要領第1項」「成績評価規程」に準ずる。					
教科書					
衛生学・公衆衛生学 : 南江堂					
教員について【実務経験有】					
歯科医師として、歯科医院での実務(臨床)経験を有している。					

## 2020年度 授業要項

区分	専門基礎分野		授業形式	履修学年/学部	第2学年/昼間部
科目名	柔道 II		実技	履修単位/時間	1単位/30時間
教員資格	柔道整復師専科教員			使用教室	柔道場
教員名	早川 周作				
学習目標と講義概要	精力善用、自他共栄の心を持った柔道整復師を育成するべく、心、技、体を鍛えることを目的とする。柔道の基本的動作をさらに発展し、約束乱取りから乱取り、投げの方を行えるようになる。				
回数	コマ数	時間数	学習内容		
1	1	2	受身、形(浮落とし、背負い投げ、) 打ち込み、投げ込み、寝技 1		
2	1	2	受身、形(浮落とし、背負い投げ、) 打ち込み、投げ込み、寝技 2		
3	1	2	受身、形(背負い投げ、肩車、) 打ち込み、投げ込み、寝技 1		
4	1	2	受身、形(背負い投げ、肩車、) 打ち込み、投げ込み、寝技 2		
5	1	2	受身、形(浮腰、払い腰、) 打ち込み、投げ込み、寝技 1		
6	1	2	受身、形(浮腰、払い腰、) 打ち込み、投げ込み、寝技 2		
7	1	2	受身、形(送り足払い、支え釣り込み足、) 打ち込み、投げ込み、寝技 1		
8	1	2	受身、形(送り足払い、支え釣り込み足、) 打ち込み、投げ込み、寝技 2		
9	1	2	受身、形(手技) 打ち込み、投げ込み、寝技		
10	1	2	受身、形(腰技) 打ち込み、投げ込み、寝技 1		
11	1	2	受身、形(腰技) 打ち込み、投げ込み、寝技 2		
12	1	2	受身、形(足技) 打ち込み、投げ込み、寝技 1		
13	1	2	受身、形(足技) 打ち込み、投げ込み、寝技 2		
14	1	2	単位認定試験		
15	1	2	解答・解説		
合計					
15	15	30			
学習方法					
見学者はレポートを提出すること					
評価方法					
「学則第24条、第25条、第26条、第27条、第28条」及び「学則施行細則第11条、第15条」並びに「単位認定試験実施要領」「単位認定・進級判定要領第1項」「成績評価規程」に準ずる。					
教科書					
なし					
教員について【実務経験有】					
柔道四段、約20年の経験があり、柔道整復師としても経験豊富である。					

## 2020年度 授業要項

区分	専門基礎分野		授業形式	履修学年/学部	第2学年/昼間部
科目名	社会保障制度 I		講義	履修単位/時間	1単位/15時間
教員資格	柔道整復師専科教員			使用教室	302教室
教員名	古川 清裕				
学習目標と講義概要	病気やけが、高齢や障害、失業などにより困窮する場合には必要な生活保障を行うものである社会保障制度を十分に理解し、患者へ説明できる柔道整復師となることを目的とする。「社会保険」、「社会福祉」、「公的扶助」、「保健医療・公衆衛生」の内容を学び、説明できるようにする。				
回数	コマ数	時間数	学習内容		
1	0.5	1	国民医療費の財源と現状		
2	1	2	社会保険関係法規・健康保険法・被保険者		
3	1	2	国民健康法・国民健康保険組合・保険者		
4	1	2	前期・後期高齢医療制度		
5	1	2	生活保護・高齢者の医療の確保に関する法律		
6	1	2	介護保険・居宅支援・ケア・マネージャー		
7	1	2	単位認定試験		
8	1	2	解説・解答		
合計					
8	7.5	15			
学習方法					
1) 板書及び説明、解説      2) 資料の配布及び説明、解説					
評価方法					
「学則第24条、第25条、第26条、第27条、第28条」及び「学則施行細則第11条、第15条」並びに「単位認定試験実施要領」「単位認定・進級判定要領第1項」「成績評価規程」に準ずる。					
教科書					
社会保障制度と柔道整復師の職業倫理：医歯薬出版					
教員について【実務経験有】					
接骨院の運営、経営に携わったことのある経験豊富な教員である。					